

太平児童センター 事業評価表

※事業区分「1」…仕様書事業、事業区分「2」…自主事業

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 H29	平成29年度の参加人数					実施 回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29 年度	H30 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を 対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・エンゼルクラブ ・ベビークラブ (さくら・たんぽぽ)	前・後期 6回 (エンゼルは 後期のみ)	10	13	15	28	470	0	0	415	885	28	410	0	0	351	761	後期から始まるエンゼルは2ヶ月から6ヶ月 の乳児が16組集まり、親同士の交流が盛ん となった。子ども同士の月齢が近いという事 もあり、子どもの話題が中心ではあるが、そ れ以上にクラブを通して親の仲間作りのき っかけになった。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・ぴよぴよクラブ (あか・あお)	前・後期 8回	10			32	498	0	0	449	947	33	514	0	0	491	1005	継続的なクラブの内容は、体操を覚えたり、 お返事ができるなど、回を重ねる毎に子 どもの成長が見られる。新聞紙遊びや、 サーキットなど、ダイナミックな家では 経験できない遊びは勿論のこと、児童セ ンターで紹介する遊びを家庭へ持ち帰る などクラブの内容に満足される親子が多 かった。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・ちびっこクラブ ・キンダークラブ	前・後期 8回	10			32	707	0	0	465	1172	32	556	23	0	444	1023	親子遊び中心の内容から、後期は子ども の「自分で!」の気持ちが育ち、最初は 親から離れることができなかった子 どもも、1人で取り組む姿が多く見 られた。1年間の成長は著しく、どの 子も、名前を呼ばれて返事をしシール を貼るなど、一連の流れがしっかりと できていた。幼稚園、保育園への準 備段階として位置付けられているクラ ブである。
	小 計						92	1675	0	0	1329	3004	93	1480	23	0	1286	2789	
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・幼児あそぼう会(毎月) ・絵本読み聞かせ(毎月) ・幼児トランポリン(毎月) ・幼児水あそび(夏季)	月3回 程度		13	12	38	543	0	0	437	980	35	407	0	0	317	724	「幼児遊ぼう」会は、毎月思考を凝らし、季節 行事を取り入れながら、親子の参加者に満 足していただけるような企画をしている。 「絵本読み聞かせ」や「トランポリン」の事業 は、自由に参加できる中で、小さな子ども 達にとって楽しい場であることへの導入の 事業であり、親の方には、児童センターに 来るきっかけとなっている。
小 計						38	543	0	0	437	980	35	407	0	0	317	724		

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29 年度	H30 年度													
児童を対象とした事業	1	① 小学生のクラブ	各月2回 程度	12	13	15	76	0	826	0	0	826	74	1	960	0	22	983	一輪車クラブは初心者と上級者にグループを分けている。個々のレベルに合わせた指導になり内容が充実した。乗れなかった子どもが乗れるようになる事で、充実感達成感を味わっている。また、初めての試みで「多治見まつり」での発表は子ども達を大きく成長させた。
		一輪車クラブ					38	0	428	0	0	428	37	1	451	0	5	457	子どもスタッフクラブは、学校学年の枠を超えて子どものアイデアを尊重し、企画から実施までの活動にしている。太平公園のゴミ拾い、福祉センター屋上の掃除、公民館祭りでの遊びの出し物、デイサービスでの慰問活動、利用者様へのバースデーカード作りを行った。
		子どもスタッフクラブ					19	0	228	0	0	228	20	0	252	0	16	268	卓球クラブは、スポーツマンとしての礼儀、技術向上に力を入れた。元高校教師が講師ということもあり、子ども達も真剣に参加している。昨年度より参加者も増え特に男子に人気のクラブである。他館に卓球クラブが無いことから校区外の子どもも参加している。一年間の集大成として、太平老人センターとの卓球大会を行うが勝つことは出来ない。
		卓球クラブ					19	0	170	0	0	170	17	0	257	0	1	258	
		② ボランティア活動	月1回 程度				12	0	44	0	0	44	12	0	39	0	0	39	内容としては環境整備を主に行っているが、子どもから自主的に提案される活動もあった。普段子ども達が利用している図書室の本の整理や、おたよりの掲示などがある。小学生の時からボランティアが身近なものとなるように働きかけていきたい。
		小 計					88	0	870	0	0	870	86	1	999	0	22	1022	
	2	③ 児童 自主事業 ・一輪車交流会 （滝呂・共栄児童館と交流） ・子どもスタッフ交流会（7館合同） ・トランボリン（毎月） ・季節行事 （デイキャンプ、クリスマス会等） ・チャレンジ番付（毎月） ・福祉体験	月3回 程度		13	13	37	35	517	15	65	632	35	41	518	0	56	615	一輪車交流会や、子どもスタッフ交流会は他館と交流する中で認め合ったり刺激合ったりする事ができ、子ども達の意欲を引き出す企画となっている。 障がい者センター共催での「福祉体験」は他の企画と比較して参加者が少ないが、今後も子ども達が楽しめるように考えていきたい。 季節行事は、定員をいつも上回る人気の行事である。
		小 計					37	35	517	15	65	632	35	41	518	0	56	615	

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 H29	平成29年度の参加人数					実施 回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29 年度	H30 年度													
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・ 太平児童センター＆ 中高生スペースまつり	年1回		13	13	1	33	102	18	88	241	1	41	82	14	100	237	お祭りの中で、平和中学校吹奏楽部のオープニング演奏があり、小学生の憧れにもなっている。引き続き中学生ボランティアとなり、「児童センターまつり」を盛り上げていく事で、小学生から中学生へのバトンの受け渡しができているようだ。
		② 移動児童館 ・ 池田町屋公民館まつり (夏・秋)	年2回					2	151	347	4	167	669	2	299	593	9	302	1203
	小 計						3	184	449	22	255	910	3	340	675	23	402	1440	
	2	③ 地域・多世代 自主事業 ・ 太平公園であそぼう ・ ふれあい福祉まつり ・ プレゼントづくり ・ お楽しみ工作 ・ 福祉センター合同事業 (豆まき会、お正月あそび等) ・ ふれあい広場 ・ 親育ち4・3・6・3協賛事業 ・ うながっばうちわで遊ぼう	月2～4回 程度		13	15	33	266	418	27	514	1225	51	540	844	28	882	2294	昨年度の親育ち4363協賛事業は、乳幼児親子対象に実施したが、今年度は幅広い年齢層に広げて実施した。特に家族での参加が多、く昨年度より参加人数が増えた理由と考えられる。 福祉センター内の合同事業では、頻繁に出会う事で顔見知りになり、デイサービス、母子父子センター老人センターの方との自然な交流ができている。 今年度初の試みで、市の産業観光課からうながっばうちわの配布の依頼があり、配布に合わせて、うちわでの遊びを準備した。200人以上の参加者があった。
小 計						33	266	418	27	514	1225	51	540	844	28	882	2294		

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29 年度	H30 年度													
中高生事業	1	① 中高生ボランティア	年5回程度	3			10	0	0	26	0	26	14	0	20	49	29	98	様々な行事等の準備のボランティアを意図的に実施した。中高生は一つの行事を作り上げる裏側を感じ、企画する大変さも経験することができた。ボランティアに興味が無い中学生も友達の話で徐々に増加していった。
	1	② 中高生スペース ・池田町屋公民館まつり準備、運営 ・太平児童センター&中高生スペースまつり準備、運営 ・巨大新聞紙プールと宝探し準備、運営	年6回		13	15	7	0	0	26	0	26	8	1	17	20	1	39	児童健全育成推進財団の児童館「みんなのコミュニケーション応援プロジェクト」に応募し、全国で11館に選ばれ、助成金で中高生スペース祭りを実施した。部屋を新聞紙いっぱいにし、巨大新聞紙プールを作った。すべり台を滑って新聞紙の中に潜ったり、新聞を散らし、車椅子に乗ったままでも入れるような工夫から障がい者センターの方々も招待した。
	小 計						17	0	0	52	0	52	22	1	37	69	30	137	
	2	③ 中高生 自主事業 ・新一年生集まれ ・卓球、バトミントン大会 ・将棋、トランプをしよう！	月1～2回程度		14	11	13	0	0	36	0	36	13	0	0	20	0	20	平日利用の中学生が少なく企画するも参加者ゼロの時があった。行事でのボランティアなどに参加する中学生の増加と関係しているのかもしれない。 「新一年生集まれ」ではたこ焼きパーティをした。ベビースターラーメンや、さらみを入れて変りたこ焼きで盛り上がった。
	小 計						13	0	0	36	0	36	13	0	0	20	0	20	

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 H29	平成29年度の参加人数					実施 回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29 年度	H30 年度													
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談日	月1回	12	13	15	12	0	0	0	0	0	12	2	0	0	2	4	相談日を毎月一回設定しているが、相談日に来る相談はほとんどない。日常の来館者との関わりの中で、母親の思いや気持ちを引き出し、気持ちよく帰ってもらうように対応している。 相談日以外の相談は、合計43件であったが、ほとんどは「子どもの発達」についての相談であった。「なないろひろば」や保健センター、幼稚園、保育園に繋げている。
		② 講習・講演・他連携 ・ 赤い羽根共同募金配分金事業 「どすこい児童館すもう体験」 ・ 歳末助け合い募金配分金事業 「猿回しシゲ&モンタ」 ・ 池田保育園共催事業	年2～4回程度	2			7	84	37	6	89	216	6	79	60	1	86	226	池田保育園と共催での事業を実施した。就園を決める時期に地域の園を知ってもらえるような企画がきっかけとなり、継続して一時預かりなどで利用している親子が増えた。 児童館合同事業は、普段児童館では企画できない、本物の力士、猿回しなど、子どもの興味をそそる催しに参加者が殺到した。また、児童だけではなく、高齢者の方の参加も目立ち、多世代交流の場となった。
		② 母親クラブ ・ ママクラブ (母親クラブ立上げ支援事業)	月1回程度				11	120	0	0	103	223	11	109	0	0	96	205	・母親クラブ設立の前段階の「ママクラブ」を実施した。毎回参加する親子が増えてきてまとまった参加人数となってきた。しかし、リーダーとなりうる存在がいない為、クラブ設立までには至らない。
	小 計						30	204	37	6	192	439	29	190	60	1	184	435	
	2	③ 子育て 自主事業 ・ なないろひろば (集団になじめない子、発達に弱さを持っている子への支援事業)	月1回		13	13	11	80	0	0	62	142	11	59	0	0	59	118	・「なないろひろば」では、毎回の繰り返しの中で子どもたちが流れを理解し、活動できるまでになった。成長する子どもの姿を見て母親の子どもの見方が肯定的になった。回を重ねるごとに積極的に母親が子どもと笑顔で触れ合うことが多くなった。 また、なないろひろばを窓口として発達支援センター、わんぱく教室につながったケースもある。多治見市の子育てネットワークの重要な役割を果たしている。
小 計						11	80	0	0	62	142	11	59	0	0	59	118		